

事業シート(令和3年度予算)

41_消防本部_1

事業名	81100 消防本部運営事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	3	人と人がつながり、安全で美しさと便利さが共存する持続可能なまちをつくる	市長公約
			款	8	消防費		まちづくり戦略	(4)	安全への備えと災害時の対応強化	
			項	1	消防費		消防計画			
			目	1	常備消防費		根拠計画			
担当課	消防本部 消防総務課・救急課	内線	2119							

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> 市民生活の安全を確保するため、消防体制の充実や関係機関との連携を強化する。 119番通報に対する迅速・的確な対応を行い、市民の生活と生命・財産を守る。 	概要	<ul style="list-style-type: none"> 消防本部の運営、関係機関との連絡・調整、大野郡白川村の消防事務の受託 高機能消防指令システムの保守点検
----	--	----	--

総合計画等 主な指標	H31実績	R2実績	R6目標
「消防・救急体制が整っている」と感じている市民の割合	78.0%		↗

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)	H31			R2		
	最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
	145,823	140,270	169,369			
特定財源						
国費()						
県費(県移譲事務交付金)	909	596	584			
その他(消防手数料、白川村受託事業収入、高速救急業務支弁金)	21,156	20,901	16,090			
一般財源	123,758	118,773	152,695			
個票枝番	主な事業内容					
	消防本部の運営	117,973	115,807	128,049		
	AED(自動体外式除細動器)の維持管理	27,520	24,306	37,860		
	緊急通報の多言語対応化(消防多言語通訳コールセンター)	330	157	330		
	言語、聴覚障がい者向け緊急通報システムの導入			3,130		

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和3年度予算編成(Action)

(千円)

R3予算		実施計画額		140,000
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
131,607	131,071	131,071	△ 38,298	
375	370	370	△ 214	
11,597	10,900	10,900	△ 5,190	
119,635	119,801	119,801	△ 32,894	
査定額	説明			
120,151				
10,800				
120				

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成31年度事業実績、評価等(Check) R2.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 火災出動 25件、救急出動 4,205件、救助出動 30件(平成31年1月～令和元年12月中) 消防署等施設及び通信指令装置等の保守点検、維持管理を行った。 緊急通報の多言語対応を行った。災害対応19件(延べ25回)、訓練4回 防災ヘリコプターの飛騨地域常駐化に向けた県への継続要望を行った。 AEDを屋外に設置した。(移設35施設、新設60施設)
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 施設の適正な維持管理、関係機関との連携強化により、消防体制の充実が図られた。 高機能消防指令システムの効率的な運用及び多言語対応により、119番通報に対する迅速・的確な対応が図られた。 AEDを屋外に設置したことで、いつでも誰もがAEDを使用できる環境を整備することができた。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 救急・消防隊の適切な運用により、市民の安全安心を確保する。 AEDを屋外に適切に設置する。(令和2年度で完結)

- 維持・改善
- 拡大
- 縮小
- 廃止検討
- H31完了
- R2完了予定

5.令和2年度事業実績、評価等(Check) R3.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R2完了 <input type="checkbox"/> R3完了予定

担当課 予算要求 ポイント	<ul style="list-style-type: none"> 高機能消防指令システムによる消防体制の充実に必要な経費を計上
---------------------	--

財務部 査定の 考え方	<ul style="list-style-type: none"> 積算内容を精査
市長査定 の考え方	<ul style="list-style-type: none"> 財務部査定のとおり

事業シート(令和3年度予算)

事業名	81110 消防署運営事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	3	人と人がつながり、安全で美しさと便利さが共存する持続可能なまちをつくる	市長公約
			款	8	消防費		まちづくり戦略	(4)	安全への備えと災害時の対応強化	
			項	1	消防費		消防計画			
			目	1	常備消防費		根拠計画			
担当課	消防本部 消防総務課	内線	2119							

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・地域の防災拠点である消防施設の災害時に即応できる体制を常に整え、機械器具等の適正な維持管理を行う。	概要	・消防庁舎(本署1、分署3、出張所4)や機械器具の維持管理(白川出張所は白川村から消防事務を受託)
----	--	----	---

総合計画等 主な指標	H31実績	R2実績	R6目標

2.事業の実施結果等(Do)

		H31		R2		
歳出事業費 (職員人件費を除く)		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	増減(b)-(a)
		28,196	25,763	27,270		
特定財源	国費()					
	県費()					
	その他(白川村受託事業収入、消防施設等使用料)	2,037	2,021	2,027		
一般財源		26,159	23,742	25,243		
個票枝番	主な事業内容					
	消防署の維持管理	28,196	25,763	27,270		

4.令和3年度予算編成(Action)

R3予算		実施計画額		28,000
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
29,330	27,270	27,270	0	
2,077	1,929	1,929	△ 98	
27,253	25,341	25,341	98	
査定額	説明			
27,270				

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成31年度事業実績、評価等(Check) R2.8実施

事業実績	・消防庁舎(本署1、分署3、出張所4)や機械器具の維持管理を実施した。 ・各署所の施設修繕を行った。(仮眠室空調設備修繕(大野)、ガス給湯器取替等修繕(荏刈)、ガス配管等設備修繕(大野)等)
評価等	・施設・設備の適正な維持管理により、消防体制の充実が図られた。
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H31完了 <input type="checkbox"/> R2完了予定

5.令和2年度事業実績、評価等(Check) R3.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R2完了 <input type="checkbox"/> R3完了予定

担当課 予算要求 ポイント	・消防署(分署・出張所を含む)の維持管理に必要な経費を計上
---------------------	-------------------------------

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
-------------------	----------

市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに
--------------	-------------

事業シート(令和3年度予算)

事業名	81120 予防事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	3	人と人がつながり、安全で美しさと便利さが共存する持続可能なまちをつくる	市長公約
			款	8	消防費		まちづくり戦略	(4)	安全への備えと災害時の対応強化	
			項	1	消防費		根拠計画		消防計画	
			目	1	常備消防費					
担当課	消防本部 予防課	内線	2118							

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・市民生活の安全を守るため、火災予防対策や啓発活動の実施等により、防火意識の高揚や防火知識の普及を図る。	概要	・防火対象物や危険物施設等の立入検査や講習会等を実施する。 ・火災予防運動や住宅防火対策等の啓発活動を実施する。
----	--	----	---

総合計画等 主な指標	H31実績	R2実績	R6目標

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)	H31			R2		
	最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
	1,030	1,023	1,035			
特定財源						
国費()						
県費(県移譲事務交付金)	1,030	1,023	1,035			
その他()						
一般財源		0	0			
個票枝番	主な事業内容					
	火災予防対策	1,030	1,023	1,035		

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和3年度予算編成(Action)

(千円)

R3予算		実施計画額	1,000
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)
1,030	1,035	1,035	0
1,030	1,035	1,035	0
0	0	0	0
査定額	説明		
1,035			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成31年度事業実績、評価等(Check) R2.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・立入検査年度計画の作成・実施・違反是正、未把握防火対象物の実態把握・立入検査・違反是正を行った。(立入検査:目標値879件、実施914件 非特定防火対象物の重大違反30件中20件是正) ・防火管理講習の企画運営・受講促進を行った。(甲種防火管理新規講習:開催2回、目標100名、受講105名 甲種防火管理再講習:開催1回、受講16名) ・春季・秋季火災予防運動、文化財防火デー、危険物安全週間に伴う実施計画作成・実施を行った。(火災予防運動:保育園児及びびん力車協力による火災予防啓発活動1回、対象物合同訓練12件、文化財防火デー訓練10件 危険物安全週間:立入検査207件) ・住宅用火災警報器設置対策実施計画に基づく広報・個別訪問等を実施行った。(住宅用火災警報器設置率:89.8%、個別訪問指導:495件)
評価等	<ul style="list-style-type: none"> ・立入検査は目標値を上回っている。違反は正も重大違反も過半を是正させているが、未是正が10件あることから、更なる指導が必要である。 ・防火管理講習は目標値以上の受講者があることから、防火管理者未選任違反の減少が図られた。 ・新型コロナウイルス感染症の影響により、一部行事を縮小したが、各予防運動等については、概ね実施できた。 ・住宅用火災警報器の設置は、全国と比較すると高い設置率であるが、維持管理の啓発や更なる未設置世帯への設置指導を図る必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> ・立入検査、各予防運動及び防火管理講習は引き続き充実を図る。 ・重大違反対象物に対する違反調査等の適切な運用を図る。 ・複雑多様化する火災原因調査に対応するため、調査員の知識・技術の向上を図る。 ・住宅用火災警報器の未設置世帯への設置促進、維持管理の啓発など更なる防火意識の高揚を図る。

- 維持・改善
- 拡大
- 縮小
- 廃止検討
- H31完了
- R2完了予定

5.令和2年度事業実績、評価等(Check) R3.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R2完了 <input type="checkbox"/> R3完了予定

担当課 予算要求ポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・火災原因調査及び立入査察(違反是正)に対する知識・技術の向上に必要な経費を計上 ・火災予防の啓発等に必要な経費を計上 ・少年消防クラブの活動促進を図るために必要な経費を計上
--------------	---

財務部 査定の考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに

事業シート(令和3年度予算)

事業名	81130 警防事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	3	人と人がつながり、安全で美しさと便利さが共存する持続可能なまちをつくる	市長公約
			款	8	消防費		まちづくり戦略	(4)	安全への備えと災害時の対応強化	
			項	1	消防費		消防計画			
			目	1	常備消防費		根拠計画			
担当課	高山消防署 警防課	内線	2117							

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> 消防車両、消防資器材、救助資器材等について、常に最適(良)な状態を維持し、災害時に確実に使用できるようにする。 緊急消防援助隊岐阜県大隊としての訓練、近隣消防本部との連携訓練、警察及び防災航空隊等との訓練を実施し、災害時の現場対応力を強化する。 保有する消防力(人、車両、装備、資器材)を最大限に活用し、災害発生時において被害を最小限に食い止める。 	概要	<ul style="list-style-type: none"> 各小隊活動のスキルアップを図り、複数小隊連携訓練の実施によって現場対応力を強化する。 広域災害に対応するための近隣消防本部との連携訓練、緊急消防援助隊岐阜県大隊訓練の実施により連携強化を図る。 各種消防車両、装備、資器材の維持管理、不具合の早期発見により、安全かつ確実な現場活動を実施する。
----	--	----	---

総合計画等 主な指標	H31実績	R2実績	R6目標

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)	H31		R2			
	最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
	16,450	15,879	14,890			
特定財源						
国費()						
県費()						
その他(白川村受託事業収入)	820	812	820			
一般財源	15,630	15,067	14,070			
個票枝番	主な事業内容					
	消防車両・装備等維持管理	16,450	15,879	14,890		

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和3年度予算編成(Action)

(千円)

R3予算		実施計画額		15,000
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
17,342	15,180	15,180	290	
1,375	770	770	△ 50	
15,967	14,410	14,410	340	
査定額	説明			
15,180				

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成31年度事業実績、評価等(Check) R2.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 空気呼吸器用ボンベについては、18本の耐圧検査を実施し、必要な空気ボンベ数を確保した。 消防車両18台の車検整備を実施し、安全な車両運行及び火災現場等における確実な防護活動を実施した。 緊急消防援助隊岐阜県大隊訓練、警察及び県警山岳整備隊、防災航空隊等との訓練を実施し、連携強化を図った。
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 保有する車両、資器材の維持管理、不具合の早期発見により、大規模な修繕費等の発生を抑制できた。 近隣消防本部や警察、緊急消防援助隊等との訓練実施により、現場活動の連携強化と現場対応力の強化を図ることができた。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 消防ポンプ車、救急車及びその他の車両を、適正に点検・修繕し、災害時には確実に運用できるよう整備する。 発生が危惧される特殊災害等に対応できるよう、隊員のスキルアップを図り、小隊活動レベルの向上と現場対応力の更なる強化を図る。
	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H31完了 <input type="checkbox"/> R2完了予定

5.令和2年度事業実績、評価等(Check) R3.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R2完了 <input type="checkbox"/> R3完了予定

担当課 予算要求 ポイント	消防ポンプ車、救急車及び資器材の維持管理に必要な経費を計上
財務部 査定の 考え方	積算内容を精査
市長査定 の考え方	財務部査定のとおりに

事業シート(令和3年度予算)

事業名	81140 救急事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	3	人と人がつながり、安全で美しさと便利さが共存する持続可能なまちをつくる	市長公約
			款	8	消防費		まちづくり戦略	(4)	安全への備えと災害時の対応強化	
			項	1	消防費		消防計画			
			目	1	常備消防費		根拠計画			
担当課	高山消防署 救急課	内線	2117							

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> 救急業務を円滑に遂行すると共に、救急救命士を全ての救急隊に配置し、救急体制の充実強化を図る。 救命講習を通じて応急手当の重要性を理解してもらい、応急手当の実施率の向上を図る。 	概要	<ul style="list-style-type: none"> 救急救命士の有資格者の養成及び病院実習を実施する。 市民に対して広く救命講習の受講の場を提供する。
----	--	----	--

総合計画等 主な指標	H31実績	R2実績	R6目標

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		H31		R2		
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)
		8,457	8,264	8,387		
特定財源	国費()					
	県費()					
	その他(白川村受託事業収入、高速救急業務支弁金)	8,443	8,264	8,387		
一般財源		14	0	0		
個票枝番	主な事業内容					
	救急救命の推進等	8,127	7,940	8,057		
	気管挿管救命士の育成	330	324	330		

4.令和3年度予算編成(Action)

R3予算		実施計画額		8,400
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
11,816	9,883	9,883	1,496	
9,869	9,428	9,428	1,041	
1,947	455	455	455	
査定額	説明			
9,553				
330				

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成31年度事業実績、評価等(Check) R2.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 救急救命士の再教育を実施した。 新処置認定救命士を9名養成した。 気管挿管救命士1名を育成した。 公募による普通救命講習を12回、事業所等各種団体からの要請による救命講習を425回開催し、計7,499人が救命講習を受講した。
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 救急救命士の再教育(病院実習を含む生涯教育)の充実と薬剤認定救命士、新処置認定救命士の養成を継続しながら、気管挿管認定救命士についても、養成する必要がある。 救命講習を広く市民が受講できるよう開催する必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 救急救命士の再教育(病院実習を含む生涯教育)の充実と薬剤認定救命士、新処置認定救命士の養成を継続しながら、気管挿管認定救命士及び指導的立場の救命士を養成する。 救命講習を広く市民が受講できるよう開催する。

- 維持・改善
- 拡大
- 縮小
- 廃止検討
- H31完了
- R2完了予定

5.令和2年度事業実績、評価等(Check) R3.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	

- 維持・改善
- 拡大
- 縮小
- 廃止検討
- R2完了
- R3完了予定

担当課 予算要求 ポイント	<ul style="list-style-type: none"> 救急救命士の再教育履修、必修のポイントの取得(病院実習、研修)に必要な経費を計上 救急救命士の認定資格の取得(病院実習、研修)に必要な経費を計上 医療機器消耗品(除細動バッテリー、ケーブル)の計画的更新に必要な経費を計上
---------------------	--

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
-------------------	----------

市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに
--------------	-------------

事業シート(令和3年度予算)

事業名	81200 消防団運営事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	3	人と人がつながり、安全で美しさと便利さが共存する持続可能なまちをつくる	市長公約
			款	8	消防費		まちづくり戦略	(4)	安全への備えと災害時の対応強化	
			項	1	消防費		消防計画			
			目	2	消防団費		消防計画			
担当課	消防本部 消防総務課	内線	2119							

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> 消防団の任務が、迅速かつ確に遂行できる体制づくりに努める。 市域における火災や災害等から地域住民の生命・財産を守ることで、市民の安全、安心の確保を図る。 	概要	<ul style="list-style-type: none"> 消防団員の任免 報酬、手当等の支給 消防団行事等の企画、運営 消防団員への各種表彰の具申等 消防団施設・資器材等の維持管理 消防団員の入団促進、確保対策の取組み(H29～)
----	---	----	---

総合計画等 主な指標	R2実績	R2実績	R6目標

2.事業の実施結果等(Do)

		H31			R2		
歳出事業費 (職員人件費を除く)		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		312,049	292,678	283,091			
特定財源	国費()						
	県費()						
	その他(退職報償金、公務災害補償費)	58,200	58,649	70,050			
一般財源		253,849	234,029	213,041			
個票枝番	主な事業内容						
	消防団の運営	162,198	154,866	129,731			
	消防団入団促進	290	347	260			
	消防団員年報酬、出動手当等	127,600	118,162	139,800			
	県消防操法大会高山市実行委員会負担金	21,961	19,303				
	消防団員活動服、安全靴の更新			12,500			
	消防団員の自動車運転免許取得への助成			800			

4.令和3年度予算編成(Action)

R3予算		実施計画額		307,000
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
312,478	306,552	306,552	23,461	
58,418	111,110	111,110	41,060	
254,060	195,442	195,442	△ 17,599	
査定額	説明			
154,932				
320				
138,000				
12,500				
800				

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成31年度事業実績、評価等(Check) R2.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 第68回岐阜県消防操法大会を開催した。(丹生川町飛騨エアパーク) 消防団条例の一部改正を行い、出動手当と特別報酬を見直した。 フォトコンテストを実施した。(応募70点、入選11点) 防火訪問等の火災予防活動を行った。 花火大会等、各種イベントにおける警備活動を行った。 消防団員の負担軽減を目的とした消防団の行事のあり方を検討した。 消防団協力事業所表示制度の認定事業所の拡大に努めた。(認定事業数262件(累計)) 作成した入団促進DVDを活用した広報活動を行った。(市役所ホール、救命講習の受講者)
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 複数の支団で操法大会の開催方法が見直され、また出動手当等を見直したことで消防団員の負担軽減と処遇改善が図られた。 今年度は改選期であり消防団員が減少したと考えられるが、引続き広報活動を含め様々な入団促進対策が必要である。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 消防団員の入団促進、処遇改善等を引き続き実施し、消防団活動の充実を図る。

5.令和2年度事業実績、評価等(Check) R3.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R2完了 <input type="checkbox"/> R3完了予定

担当課 予算要求 ポイント	<ul style="list-style-type: none"> 消防団員が安全、有効に活動できるための施設、車両、装備等の維持管理に必要な経費を計上 消防団の入団促進策、確保対策に必要な経費を計上
---------------------	---

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに

事業シート(令和3年度予算)

事業名	81300 消防施設整備事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	3	人と人がつながり、安全で美しさと便利さが共存する持続可能なまちをつくる	市長公約
			款	8	消防費		まちづくり戦略	(4)	安全への備えと災害時の対応強化	
			項	1	消防費		消防計画			
			目	3	消防施設費		根拠計画			
担当課	消防本部 消防総務課	内線	2119							

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・老朽化した消防施設を整備し、各種災害に対する消防力の強化と充実を行い、市民の安全・安心の確保を図る。	概要	・消防団車庫を計画的に整備する。 ・消防署施設を計画的に修繕整備する。
----	---	----	--

総合計画等 主な指標	H31実績	R2実績	R6目標

2.事業の実施結果等(Do)

		H31		R2			
歳出事業費 (職員人件費を除く)		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		54,981	51,897	28,300			
特定財源	国費()						
	県費()						
	その他(過疎対策事業債)	50,000	36,000	25,000			
一般財源		4,981	15,897	3,300			
個票枝番	主な事業内容						
	消防団車庫修繕・撤去等	5,500	14,181				
	消防団車庫改築	49,481	37,716	28,300			
	消防署等施設の施設修繕						

4.令和3年度予算編成(Action)

R3予算		実施計画額		10,000
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
17,253	13,100	13,100	△ 15,200	
	5,000	5,000	△ 20,000	
17,253	8,100	8,100	4,800	
査定額	説明			
※				
※				
※				

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成31年度事業実績、評価等(Check) R2.8実施

事業実績	・旧牧戸駅舎を解体し、跡地に消防団車庫を新築した。(荘川支団(牧戸班)) ・消防団車庫の解体を3か所行った。(荘川支団(牧戸班)、朝日支団(上ヶ見班)、上宝支団(吉野班)) ・消防団車庫屋根塗装を2か所行った。(上宝支団(蔵柱班・宮原班))
評価等	・牧戸班団車庫の建設では、旧牧戸駅舎の資料を展示するなど地元住民の活動に配慮した新しい取組みができた。 ・用途廃止し不要となった消防団施設を解体、撤去することで、施設の倒壊や破損による周辺民家への被害を未然に防いだ。 ・団車庫の劣化状況や組織再編への柔軟な対応と公共施設等総合管理計画との整合性を図りつつ、定期的に見直す必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H31完了 <input type="checkbox"/> R2完了予定 ・計画的に施設の整備を進める。

5.令和2年度事業実績、評価等(Check) R3.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R2完了 <input type="checkbox"/> R3完了予定

担当課 予算要求 ポイント	・消防団車庫の更新に必要な経費を計上 ・消防署施設の改修に必要な経費を計上
---------------------	--

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
-------------------	----------

市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに
--------------	-------------

事業シート(令和3年度予算)

41_消防本部_8

事業名	81310 消防車両整備事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	3	人と人がつながり、安全で美しさと便利さが共存する持続可能なまちをつくる	市長公約
			款	8	消防費		まちづくり戦略	(4)	安全への備えと災害時の対応強化	
			項	1	消防費		消防計画			
			目	3	消防施設費		根拠計画			
担当課	消防本部 消防総務課・警防課・救急課	内線	2119							

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> 消防車両(署・団)を適正に配置しする。 、老朽化した車両を更新整備することにより消防活動の安全と災害時の対応能力を向上させ、市民の安全・安心を確保する。 	概要	・消防車両、消防団車両の計画的な更新整備
----	---	----	----------------------

総合計画等 主な指標	H31実績	R2実績	R6目標

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)	H31			R2		
	最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
	76,000	74,872	171,000			
特定財源						
国費()						
県費()						
その他(過疎対策事業債)	25,000	44,000	6,000			
一般財源	51,000	30,872	165,000			
個票枝番	主な事業内容					
	消防団車両更新	35,500	36,028	31,200		
	消防団小型動力ポンプ付積載車用資器材更新	7,000	6,290	5,000		
	消防署車両更新	2,500	2,383	134,800		
	高規格救急自動車更新	20,500	20,019			
	救急車積載用高度救命資器材更新	10,500	10,152			

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和3年度予算編成(Action)

(千円)

R3予算		実施計画額	18,000
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)
263,958	16,500	16,500	△ 154,500
	9,000	9,000	3,000
263,958	7,500	7,500	△ 157,500
査定額	説明		
※	消防団車両 2台		
※	消防団車両積載資器材一式 2台分		

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成31年度事業実績、評価等(Check) R2.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 高規格救急自動車1台を更新し、大野分署に配備した。 広報車1台を更新し、高山消防署に配備した。 消防ポンプ自動車1台を更新し、高山支団(上切班)に配備した。 小型動力ポンプ付積載車2台を更新し、丹生川支団(大萱班)、国府支団(宮地班)に配備した。 小型動力ポンプ付積載車1台を更新し、高根支団(中洞班)に配備した。
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 計画的に消防車両等の更新を進め、必要な消防車両等を適切に維持管理していかなければならない。 老朽化した車両を更新整備することにより、消防活動の安全と災害時の対応能力を向上させることができた。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 計画的な更新整備を図り適正に維持管理する。 消防団車両整備は、分団、班の再編成状況を踏まえ、消防団車両ととともに、計画的かつ効率的に進める。 消防団車両と常備消防車両の更新については、平準化に向けた調整を図る。

- 維持・改善
- 拡大
- 縮小
- 廃止検討
- H31完了
- R2完了予定

5.令和2年度事業実績、評価等(Check) R3.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R2完了 <input type="checkbox"/> R3完了予定

担当課 予算要求 ポイント	<ul style="list-style-type: none"> はご付き消防自動車の更新(高山消防署)に必要な経費を計上 小型動力ポンプ付積載車の更新(消防団)に必要な経費を計上
---------------------	--

財務部 査定の 考え方	<ul style="list-style-type: none"> 積算内容を精査 消防車両整備に係る計画について全体を見直し
-------------------	--

市長査定 の考え方	・財務部査定のとおり
--------------	------------

事業シート(令和3年度予算)

事業名	81320 消防水利施設整備事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	3	人と人がつながり、安全で美しさと便利さが共存する持続可能なまちをつくる	市長公約
			款	8	消防費		まちづくり戦略	(4)	安全への備えと災害時の対応強化	
			項	1	消防費		消防計画			
			目	3	消防施設費		根拠計画			
担当課	高山消防署 防災課	内線	2117							

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> 地震等の災害発生時における消防水利の確保と、避難所等における生活雑用水の確保を目的に耐震性の貯水槽を整備し、消防水利の充実と地域の防災力強化を図る。 消防水利を適切に維持管理することで、効果的な消防活動ができる環境を維持し被害を軽減する。 	概要	<ul style="list-style-type: none"> 耐震性貯水槽を整備する。 損傷、老朽化がみられる消防水利の改修、修繕 防火水槽の清掃(土砂除去等による環境改善と水量維持)
----	--	----	---

総合計画等 主な指標	H31実績	R2実績	R6目標

2.事業の実施結果等(Do)

		H31			R2		
歳出事業費 (職員人件費を除く)		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		43,783	43,396	36,140			
特定財源	国費(消防防災施設等整備費1/2)	5,386	5,486	5,486			
	県費						
	その他(過疎対策事業債)	12,000	12,000	6,000			
一般財源		26,397	25,910	24,654			
個票枝番	主な事業内容						
	耐震性貯水槽更新、防火水槽解体	23,859	23,821	18,900			
	自主防災組織小型動力ポンプ等購入	4,500	4,352	4,000			
	水利施設の維持管理等	15,424	15,223	13,240			

4.令和3年度予算編成(Action)

R3予算		実施計画額		35,000
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
55,176	39,360	39,360	3,220	
5,486	5,486	5,486	0	
	8,000	8,000	2,000	
49,690	25,874	25,874	1,220	
査定額	説明			
	※ 耐震性貯水槽2基			
	※ 小型動力ポンプ3台			
15,360				

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成31年度事業実績、評価等(Check) R2.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 既存防火水槽から耐震性貯水槽へ2基更新を行った。(久々野、上宝) 防火水槽の漏水、水槽本体及びフェンス等の破損を5基修繕した。 防火水槽の清掃を3基行った。(土砂除去等による環境改善と水量維持)
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 非耐震性の防火水槽を耐震性貯水槽に更新することで、消防体制の充実と地域の防災力強化を図ることができた。 消防水利を適正に維持管理することで、災害による被害を軽減することができた。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き老朽化した防火水槽を耐震性貯水槽に更新し、震災時にも使用可能な消防水利を確保する。 コスト削減を図りながら、消防水利の適正な維持管理を実施する。

5.令和2年度事業実績、評価等(Check) R3.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H31完了 <input type="checkbox"/> R2完了予定

担当課 予算要求 ポイント	<ul style="list-style-type: none"> 計画的な耐震性貯水槽の整備に必要な経費を計上 消火栓の機能保全と適正配置に必要な経費を計上
財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに

事業シート(令和3年度予算)

事業名	81330 消防資器材整備事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	3	人と人がつながり、安全で美しさと便利さが共存する持続可能なまちをつくる	市長公約
			款	8	消防費		まちづくり戦略	(4)	安全への備えと災害時の対応強化	
			項	1	消防費		根拠計画		消防計画	
			目	3	消防施設費					
担当課	消防総務課・警防課・防災課・救急課	内線	2119							

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> 消防資器材及び初期消火資器材について、経年劣化した資器材の更新を適正に行い、迅速かつ的確な消防活動を実施し、市民生活の安全を確保する。 自主防災組織の活動に必要な初期消火資器材の更新整備を図る。 	概要	<ul style="list-style-type: none"> 計画的に資器材を整備し、有効活用することで、総合的な消防力の向上を図る。 初期消火資器材の更新及び修繕
----	--	----	--

総合計画等 主な指標	H31実績	R2実績	R6目標
「消防・救急体制が整っている」と感じている市民の割合	78.0%		↗

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)	H31		R2			
	最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
	36,906	36,715	18,110			
特定財源						
国費 (消防資器材整備事業費1/3)	2,900	3,005	1,200			
県費 (消防施設等整備事業費)						
その他(白川村受託事業収入)		993	0			
一般財源	34,006	32,717	16,910			
個票枝番	主な事業内容					
	消防資器材の整備	18,106	20,178	9,010		
	消防団装備品	18,800	16,537	9,100		

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和3年度予算編成(Action)

(千円)

R3予算		実施計画額		12,000
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
35,048	16,000	17,200	△ 910	
			△ 1,200	
422	0	0	0	
34,626	16,000	17,200	290	
査定額	説明			
7,900				
9,300	簡易デジタル無線機、夜間用照明器具等			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成31年度事業実績、評価等(Check) R2.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 常備消防上下式防火衣8着を更新整備した。 特殊災害資器材として、救助用パールを34本、ファーストレスボンダージャッキを9台、樹脂製クリビングキットを9セット整備した。 救助訓練用安全マットを2個、空気呼吸器を3セット、個人携帯警報器を18器整備した。 消防用ホース(常備分)16本を更新整備した。 消防団震災対応資器材(チェーンソー、エンジンカッター、保護具)を38セット新規整備した。 消防団用に簡易デジタル無線機56機を整備した。 消防団用にヘッドライト1,450個を整備した。 消防ホース(常備、団)98本を更新整備した。 初期消火資器材として、格納箱32基、ホース36本を更新整備した。 救命講習用訓練人形、AEDトレーナーを整備した。
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 消防資器材を計画的に更新し、消防活動の安全確保、現場対応力の充実強化が図られた。 老朽化した初期消火資器材を更新し、自主防災組織活動の安全確保に繋がった。 特殊災害、水害救助用資器材を整備し、地震、噴火等災害発生時の現場対応力の強化が図られた。 消防団員への安全装備品の整備により、団員の安全管理及び現場対応力の強化が図られた。また、国や公務災害基金の補助金等を活用し経費削減につながった。 講習用資器材の充実を図ることで、市民への応急手当の普及啓発が図られた。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 更新整備した資器材を有効活用することにより総合的な消防力の向上を図る。 老朽化した初期消火資器材の適切な更新を進め、自主防災組織による活動の安全を確保する。 消防団員の安全装備品は、計画的な整備と共に国の補助金等を活用し経費の削減に努める。

- 維持・改善
- 拡大
- 縮小
- 廃止検討
- H31完了
- R2完了予定

5.令和2年度事業実績、評価等(Check) R3.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R2完了 <input type="checkbox"/> R3完了予定

担当課 予算要求 ポイント	<ul style="list-style-type: none"> 消防防災体制の充実を図るための消防資器材の計画的な整備に必要な経費を計上 消防団活動に必要な装備品の整備に必要な経費を計上
---------------------	--

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
-------------------	----------

市長査定 の考え方	・消防団夜間活動用照明器具購入に必要な経費を計上
--------------	--------------------------